平成２２年度第２回兵庫県スポーツ振興審議会　議事録

１　期 日 ・ 場 所　　平成２３年２月２２日（火）13:00～15:00
兵庫県民会館　９階「902」
〒650-0011　神戸市中央区下山手通４丁目 16-3

２　出　　席　　者　(委員 14 名)
和田委員　　小山委員　　東田委員　　飯田委員
平松委員　　山口委員　　田名網委員　　平川委員
増田委員　　田中委員　　寺見委員　　山中委員
大寺委員　　三木委員　　（欠席：松本委員）

(幹事８名)　　＊黒川幹事　　藤森幹事　　手塚幹事　　柳瀬幹事
畠幹事　　大谷幹事　　開幹事　　＊高見幹事
＊林幹事　　濱田幹事　　永井幹事　　＊小林幹事
（＊印は代理出席）

(教育委員会)　　溝口教育次長

(事務局)　　廣瀬参事　　船田副課長　　八木副課長　　島田係長
大﨑主任指導主事　　東主任指導主事　　山根主任指導主事
坂本指導主事

３　開会あいさつ　　教育委員会事務局　溝口教育次長

４　委員・幹事紹介　　司会者（島田係長）呼名による委員紹介
及び紙面による幹事紹介

５　署名委員の指名　　署名委員は、平松会長の指名により、次のとおり決定された。
増田委員　　平川委員

６　前回議事録の報告
平成２２年度第１回スポーツ振興審議会における報告事項（平成２２年度事業概要）及び審議事項（兵庫県生涯スポーツ振興計画の改定）について八木副課長が説明し、承認された。

７　報　告　事　項
平成２２年度の事業実施概要について
(1) 体育保健課に関する事業概要について、濱田体育保健課長が報告した。
(2) スポーツ振興課に関する事業概要について、永井スポーツ振興課長が報告した後、

「神戸マラソン」の開催について廣瀬参事が報告した。

(3) 障害者支援課に関する事業概要について、手塚障害者支援課長が報告した。

８　審　議　事　項

(1) 平成２３年度スポーツ振興団体に交付する補助金について、八木副課長が説明し、案のとおり、関係団体に対して補助事業を実施することが承認された。

(2) 兵庫県生涯スポーツ振興基計画の改定について

① 「改定スケジュール」について、八木副課長が説明し、委員会及び各部会で引き続き計画の改定作業を進めていくことで承認された。

② 平成２２年度県民スポーツ意識調査の結果について八木副課長が説明し、各委員から専門的な立場での意見交換が行われた。

９　その他の事項

◇　委員の主な意見及び事務局の説明

(1) 報告事項：事業実施概要「神戸マラソン」について

①　１点目は公式ホームページの開設は、いつになるのか。２点目は、クォーターマラソン参加者のゴール地点からの移動手段はどのように考えているのか。３点目は参加料の１００円をチャリティーに充てるとあるが、東京マラソンでは、１０万円のチャリティーを行うことで、必ず参加できるという方法をとっている。また、チャリティー協賛として協力することによって、協賛団体に参加枠を設けるなどいろいろな方法があると思うが、検討されているか。

（事務局の説明）

１点目は、３月上旬を予定している。２点目は、駅まで誘導し順次解散することを予定している。３点目は、実行委員会で検討を進める。

②　事前事後のメディカルチェック体制について、どのように考えているのか。

（事務局の説明）

事前のメディカルチェックはチェックシートを活用した自己管理を予定している。当日は、救護・医療体制の整備を行うが、加えて医療モバイルスタッフの配置及びドクターランナーの参加など、東京マラソン以上の安全対策に取り組みたい。

(2) 審議事項：兵庫県生涯スポーツ振興計画の改定について

①　前回調査と比較すると、身近な場所でできて、用具のいらない個人で行う運動・スポーツが増えており、健康体力づくりを目的としている。これを、県民の要望としてとらえ、スポーツクラブ２１ひょうごの活用など、県の施策に反映させていく必要があるのではないか。また、スポーツクラブ２１ひょうごについては、子どもの運動・スポーツの環境づくりのために有効に機能させていく施策も必要である。

②　競技スポーツでは、兵庫県のアスリートが国内外で活躍するためには、どのように取り組んでいくのか検討が必要である。みるスポーツの観点からみるとプロスポーツの観戦だけでなく、高校生の部活動大会を保護者や関係者が観戦する機会なども増えていると思う。

③　障害者スポーツでは、県民スポーツ意識調査作成段階から回答結果を予測し、設

問を設定したうえで、検証を行った。回答結果をみると、健常者と障害者に分けるのではなく、障害者スポーツを展開していくうえで、県民全体の意見として、配慮しながら計画を立てる必要性を再認識した。

④　高齢社会を迎えていることもあるが、県民の健康意識の高まりを感じる。スポーツクラブ２１ひょうごは、ＰＲ不足ではないか。ＰＲ活動を通して、県民の健康意識の高まりをうまく活用し、運動実施者を増やすことを考えてはどうか。

⑤　県民意識調査結果における「兵庫らしさ」を、今後の計画にどのように反映させるかが課題であり、社会全体でスポーツを支える体制づくりが必要である。各市町においてスポーツ振興計画を策定することが、県全体の体制づくりとして求められるのではないかと感じた。また、スポーツクラブ２１ひょうごを核としたスポーツ振興を図っていく必要もある。

⑥　西宮市においても、スポーツ指導者が不足しているという現状を参考としていただきたい。

また、運動好きの児童生徒の増やすためには、指導方法が大切である。指導方法がハードなため、部活動を辞めるという現実もある。今後、体育保健課と連携しながら取り組んで行きたい。

⑦　子ども達を指導していて感じることは、最近の子どもは、本当に遊んでいない。これまでは遊びを通じて、仲間と協力することや運動能力が養われてきた経緯があるが、現状では仲間と協力できない、基本的な運動ができないという場面がみられる。兵庫県は海や山などの自然環境にも恵まれており、子どもの体力向上のための自然環境を活かした環境づくりにも力を入れるべきである。

⑧　最近の子どもは、生活すべてをプログラムされている。自分で考え行動することという基本的なことを指導することも必要である。また、調査対象者の年齢層の約４０％が６０代以上の高齢者である。今後、計画を検討するうえで、世代を分けて考える必要がある。

⑨　スポーツクラブ２１ひょうごについては、子育て支援活動など、地域の活動にも取り組むことも必要である。子どもの生活と運動能力の低下をみると生活が大きく影響している。幼児期は、調整力の発達する時期として、自分の思いで身体を動かす経験が必要な時期である。これらの経験がその後の体育・スポーツ活動につながっていく。幼児期、特に３～５歳時に全身を使った活動がしっかりできるような取り組みは、環境づくりが大切である。地域のスポーツクラブでもこれらの取り組みを行うような「兵庫らしい」アイデアを基本構想に盛り込んでいただきたい。

⑩　スポーツクラブ２１ひょうごの認知度が低いことを意外に感じた。地域の人が近くにどのようなクラブがあって、どのような活動を行っているかということを知るような機会があれば、この数字が改善されるのではとないか。例えば、クラブのＰＲに補助するような施策などが効果的ではないかと思う。スポーツクラブ２１ひょうごは、地域の活力という点で、「安心・安全のまちづくり」につながる大きなポイントであると思うので、充実させる方策等が必要であると感じた。

⑪　スポーツクラブ２１ひょうご事業は、全国に類をみない大きな政策であるが、県からの補助金が終了し、今後の財源をどのように確保していくかが、大きな課題で

ある。スポーツクラブは、地域で子どもを支えるという重要な役割を担っており、今後、後押しするような施策も必要であると考えている。

⑫　備前市、赤穂市、上郡町は定住自立圏構想の中で、同日同時刻にスポーツ行事にどれだけ市民が参加するかという競争を行っている。賞品も何もないが、市町民の気運が高まり、世代を超えた交流が生まれた。スポーツクラブ２１ひょうごでも、このような取り組みを参考にすれば、さらに次のステージに飛躍するのではないかと感じた。

⑬　今回の県民意識調査では、「する」スポーツだけでなく、「みる」「ささえる」スポーツについても入っており、障害者スポーツの項目も入っている。結果は、県民の運動・スポーツ、健康づくり、あるいは、「みる」「ささえる」スポーツのすべてにおいて、県民意識が非常に高いという結果となった。成人の週１回以上のスポーツ実施率では、前回に比べ高い結果となった。国のスポーツ立国戦略では、週３回以上のスポーツ実施率の目標値を新たに３０％と設定したが、それに近い２６％という結果となっている。「する」スポーツでは、個人で身近に手軽にできることを望んでいる傾向が出た。これらの結果を踏まえ、今後は定期実施者と不定期実施者などターゲットを絞った施策が必要であると考えている。通勤中のウォーキングなど日常生活の中で行う身体活動などを考えていくことが重要である。また、非実施者については、健康や栄養などのプログラムと併せて行っていくことが必要である。また、個人で実施、参加する機会をサポートするために、ソフト面の工夫も必要である。

　スポーツクラブ２１ひょうごについては、会員数などが横ばいとなってきており、対策を考えていく必要がある。また、子どものスポーツ意識調査も必要であると考えている。

10　その他

〇地域スポーツ指導者育成推進事業（文科省委託事業）について　山口委員

11　閉会あいさつ　　濱田体育保健課長

12　閉　　会

署名委員

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印